

定例記者会見

令和6年2月13日（火）13時30分

- 1 市政の動向
- 2 主な議案のポイント
- 3 令和5年度 第13回補正予算のポイント
- 4 令和6年度 政策方針のポイント
- 5 令和6年度 当初予算のポイント
- 6 アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望
- 7 その他



1 市政の動向

(1) 「川内大綱引」 国の重要無形民俗文化財指定に答申（1月19日）

国の文化審議会は、令和6年1月19日に開催された同審議会において、「川内大綱引」を重要無形民俗文化財として指定することについて、文部科学大臣に答申しました。

今後、官報告示を経て、指定となる見込みです。



(2) 「香港・マカオ」トッパセールス (1月20日～1月23日)

令和6年1月20日から23日にかけて、薩摩國広域輸出促進協議会の会長として香港・マカオで特産品展示・販売や観光PR、現地バイヤーとの商談などを行いました。

マカオでは、1月16日～23日まで「薩摩國食品フェア」が開催され、キンカン、米、お茶、梅酒など多くの市内産品を展示・PRしました。



(3) 川内原子力発電所に関する市民セミナー (1月27日)

川内原子力発電所に関係する6機関による説明や質疑応答を通して、「川内原子力発電所の運転期間延長認可に係る審査の経過・結果」、「エネルギー政策」、「川内原子力発電所の安全対策」及び「原子力防災対策」について、市民の総合的な理解向上、市民の意見・要望の広聴等を図るため、市民セミナーを開催しました。

【6機関参加】

薩摩川内市、原子力規制委員会原子力規制庁、経済産業省資源エネルギー庁、内閣府、鹿児島県、九州電力株式会社



2 主な議案のポイント

議 案 合計 49件

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | 一般議案 | 25件 |
| 2 | 令和5年度補正予算関係議案 | 11件 |
| 3 | 令和6年度当初予算関係議案 | 13件 |

議案第14号 町の区域の設定及び変更について

「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現のため、資源循環拠点の創出及び循環経済に資する産業立地を推進することを目的として、本市港町の一部の区域（川内（火力）発電所跡地）について、町の区域を設定し、町名変更しようとするもの。

○ 概要

- | （設定・変更後の町名） | （包括される区域） |
|----------------|-----------------------|
| ・ サーキュラーパーク一丁目 | …港町字唐山6 1 1 0の1ほか |
| ・ サーキュラーパーク二丁目 | …港町字唐山6 1 1 0の1 7 3ほか |

議案第22号

薩摩川内市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

令和6年度から令和8年度までの介護保険料を定めるとともに、介護保険法施行令の一部を改正する政令（令和6年政令第13号）の公布に伴い、所要の規定の整備を図ろうとするもの

○ 改正（案）の主な内容

- ・ 「介護保険料基準月額」を100円引き下げ
6,200円 ⇒ 6,100円

議案第27号

薩摩川内市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

消防団員の処遇を改善するため、消防団員の年額報酬を改定しようとするもの

○ 改正(案)の主な内容

・ 消防団員に支給される「年額報酬」の引き上げ

1	方面隊長	162,000円	⇒	170,000円
2	本部員	100,000円	⇒	110,000円
3	分団長	95,000円	⇒	105,000円
4	副分団長	59,000円	⇒	69,000円
5	部長	51,000円	⇒	61,000円
6	班長	45,000円	⇒	55,000円
7	団員	42,000円	⇒	50,000円
8	機能別団員	班長	22,500円	⇒ 27,500円
		団員	21,000円	⇒ 25,000円

3 令和5年度 第13回補正予算のポイント



○一般会計

- ・ 補正額 △3億553万3千円
- ・ 補正後の予算額

615億6,695万4千円

(前年度同期比5.3%増)



補正予算の主な内容

- ・ 医療福祉対策基金の基金積立
- ・ 学校教育施設整備基金の基金積立

医療福祉対策事業（2億円基金積立）

今後の医療及び福祉施設の整備に係る財源として、医療福祉対策基金に積立てを行います。

＜事業費＞ 2億円

事項名：地域医療対策費（担当課：市民健康課）

学校教育施設整備事業（2億円基金積立）

本市の小・中学校におけるトイレの洋式化及び特別教室への空調設置を含めた学校施設の長寿命化計画を着実に推進するための財源として、薩摩川内市学校教育施設整備基金に積立てを行います。

＜事業費＞ 2億円

事項名：事務局管理費（担当課：教育総務課）

4 令和6年度政策方針のポイント



- (1) 市誕生20周年記念事業の実施**
- (2) 第3次薩摩川内市総合計画の策定**

(1) 市誕生20周年記念事業の実施

令和6年10月12日に市誕生20周年を迎えるにあたり、市民とともに祝う記念事業を実施、市民の郷土愛と一体感の醸成を図りながら、アフターコロナの未来に向けて更なる飛躍を目指します。

1 期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 推進体制

薩摩川内市誕生20周年記念事業推進本部

3 記念事業の構成

(1) 市主催事業

(2) 冠事業

(3) 市民協働事業

※市民が実施する記念事業を募集し、その事業の一部を支援します。

(4) 情報発信事業

※各種メディアやホームページ、ソーシャルメディアを活用した発信のほか、記念ロゴマークを用い市民と一体となってPRを行います。



(2) 第3次薩摩川内市総合計画の策定

今後10年間の市政の羅針盤となる「第3次薩摩川内市総合計画」
(計画期間：令和7年度～令和16年度)の策定作業を進めています。

1 主な経過

▶ 原案策定 に向けて

広聴活動

- ・R2.11～R3.12 令和デザイントーク
- ・R4.7～R5.2 市まちづくりデザイン会議
- ・R4・5年度 令和コミュニティトーク 等

庁内検討

- ・R2.12～R5.3 広聴・新ビジョン調査PT
- ・R3年度 横断的政策立案作業部会
- ・R4.10～ 総合計画策定部会
- ・R5.5～6 政策会議（原案の提案・審議）

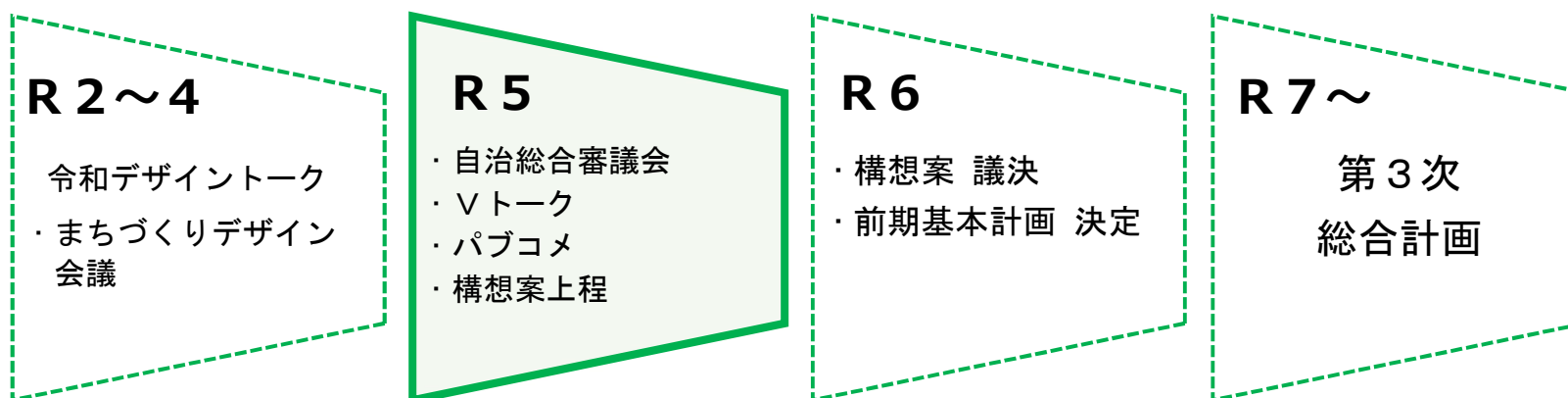
▶ 原案策定後

- R5.6～R5.11 自治総合審議会 設置・諮問・答申
- R5.7～R5.8 第3次総合計画広聴会（Vトーク）
- R5.8 パブリックコメント

▶ 議会への 説明

- R5.3月議会 全協説明「策定状況・今後の予定」
- R5.6月議会 全協説明「策定状況・今後の予定・Vトーク説明内容」
- R5.7.18 原案の情報提供
- R5.9月議会 全協説明「広聴活動状況・今後のスケジュール」
- R5.12月議会 委員会説明「策定状況・今後のスケジュール」

2 スケジュール



令和6年3月議会 基本構想案上程
(前期基本計画案を参考資料として提示予定 ※)

※ 前期基本計画案については、参考資料として示した後も、
内容の調整・地区振興計画の内容の反映等を進め、令和6年度内に
内容決定する。

5 令和6年度 当初予算のポイント



一般会計

5 7 5 億 6 千万円

前年度比 + 5.5%

特別会計

9 会計

2 5 8 億 4 千万円

前年度比 △ 0.8%

企業会計

3 会計

5 6 億 9 千万円

前年度比 +0.6%

全会計総額

8 9 1 億円

前年度比 + 3.3%

※千円以下端数調整のため
合計額に相違が生じています

(1) 子ども・子育て

ア 産後ケア事業【拡充】 6,781千円（予算概要：P70）

これまで実施してきた産後ケア事業に、アウトリーチ型（訪問支援型）や甕島在住の産婦に対する船賃助成を拡充します

イ 学校給食費補助事業【新規】 82,086千円（予算概要：P130）

物価高騰に伴う食材費上昇分について助成します

ウ 共働き・子育て応援事業【新規】 1,000千円（予算概要：P30）

男性の育児休暇取得や家事・育児への参画を促進する事業を行います

エ 子ども医療費助成事業 412,774千円（予算概要：P66）

子ども（18歳に達した日以後の最初の3月31日まで）の医療費の窓口負担分について助成します

- 「イ 学校給食費補助事業」及び「エ 子ども医療費助成事業」は、川内原子力発電所1、2号機運転期間延長により新たに加算される電源立地地域対策交付金を活用

(2) コミュニティ

ア 自治会運営交付金【拡充】 126,035千円（予算概要：P31）
これまでの運営交付金に加え、防犯灯電気料金支援分や高齢化率により交付する活性化推進分などを拡充して交付します

イ 地区コミュニティ協議会運営交付金【拡充】
99,578千円（予算概要：P33）
これまでの運営交付金に加え、防犯灯電気料金支援分を拡充して交付します

ウ テレビ難視聴自主共聴組合運営支援事業【新規】
2,000千円（予算概要：P37）
地域住民が自主的に整備した共聴組合が所有する共同受信施設の維持管理経費の一部補助を行います

(3) 産業人材確保・移住定住戦略

薩摩川内市産業人材確保・移住定住戦略実行計画の策定【予定】

- 市予算事業（産業人材確保・移住定住戦略事業の一部）50事業
総額 3億3,396万6千円

ア 若者就労支援事業（中高生ふるさと就職奨励金）【新規】

20,000千円（予算概要：P38）

本市の高校新卒者または市内在住の市外高校新卒者（いずれも市内中学校卒者、高校中退者含む）が、市内居住かつ市内の事業所に就職後6か月以上経過した場合、10万円分のSDGsポイントをつんPayで支給します

イ 新規就農支援金補助金（営農・畜産）【拡充】

38,421千円（予算概要：P84、87）

本市に住所を有する認定新規就農者に対して、就農支援資金の交付及び農業機械・施設等の整備に要する経費の一部を助成します。また、親元やU Iターン者で就農を希望する者が、農家研修等を行う場合、就農準備資金を交付します

(4) SDG s ・カーボンニュートラル

ア SDG s ポイント事業【新規】 27,070千円（予算概要：P38）
SDG s 理念の浸透及び地域内経済循環の創出を実現するため、デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」を活用して、SDG s 理念の実現に貢献する様々な取組に参加された方に対して、市内飲食店等で利用可能な「SDG s ポイント」を付与します

イ SDG s チャレンジ事業【拡充】 19,827千円（予算概要：P27）
これまで実施してきた市民向けのワークショップや職員向けの研修の実施、シンポジウムの開催に加え、プロモーション及び小中学生への啓発活動等の充実を図ります

(5) DX（デジタル・トランスフォーメーション）

ア デジタル地域通貨プラットフォーム「つんPay」活用促進事業【拡充】

18,000千円（予算概要：P38）

つんPayを活用した地域内経済循環を促進するため、新たに実施するSDG s ポイント事業の運営基盤を整備するとともに、つんPayをはじめとしたスマートフォンアプリの操作方法等を地域住民にレクチャーするDX活用促進事業を実施します

イ マルチ医療DX事業【拡充】 11,540千円（予算概要：P39）

市民の健康意識向上のため、令和5年度に構築した地域医療介護情報ネットワーク「かごネット」の登録者が利用可能な健康管理アプリ「かごマイカルテ」の機能を拡充します

(6) 市誕生20周年記念

ア 薩摩川内市誕生20周年記念式典事業【新規】

4,384千円（予算概要：P25）

市誕生20周年記念を市民とお祝いするとともに、市政発展のために功績のあった方の表彰を行います

イ 川内大綱引重要無形民俗文化財指定記念事業【新規】

2,000千円（予算概要：P138）

川内大綱引が重要無形民俗文化財に指定されることを記念し、基調講演やパネルディスカッションなどのシンポジウムを開催します

(7) 電源立地地域対策交付金事業・使用済核燃料税

ア 川内原子力発電所1、2号機運転期間延長により新たに加算される
交付金（1号機40年超加算分）

<交付金額> 1億円／年（20年間）

◆新たに加算される交付金を活用する事業

子ども医療費助成事業（事業費4億1,277万円のうち5,200万円交付金活用）

学校給食費補助事業（事業費8,209万円のうち4,800万円交付金活用）

イ 使用済核燃料税

<令和6年度増収額> 約6,500万円

※令和6年度から1体当たり税率29万円（令和5年度までは27万円）

◆増収分の使用済核燃料税を活用する主な事業

【新規】自治会・地区ゴミ防犯灯電気代補助（1,900万円）

【新規】テレビ難視聴自主共聴組合運営補助（200万円）

【拡充】リサイクル推進員活動費補助、一般廃棄物集積場整備補助（2,101万円）

【拡充】公設ごみステーションごみ分別指導等事業（270万円）

【拡充】生ごみ処理機器購入補助（92万円）

【新規】ふれあい・いきいきサロン活動支援（150万円）

【拡充】消防団員報酬の増額（570万円）

6 アフターコロナを見据えた薩摩川内市の 中期的展望



SDGs・カーボンニュートラル、デジタル社会構築の理念の下、「5つの未来創生」の実現を目指します

1 新ビジョンの策定

2 循環経済・産業拠点の創出 ～川内港臨海ゾーン整備～

3 雇用の創出

4 交流の創出

5 甑島医療体制の整備

1 新ビジョンの策定

① 第3次総合計画策定（計画期間：令和7～16年）

自治総合審議会



◀ 市内公共的団体・学識経験者等による審議会において、諮問を受けた計画原案について、未来のまちの姿を描く計画となるよう審議を重ね、答申を行った（全6回）。

Vトーク（広聴会）



◀ 市民の声・地域の声を反映した計画となるよう市内6エリア（全7回）で広聴会を実施した。

② 48地区コミュニティの地区振興計画改訂（計画期間：令和6～10年）

- ・ 地区支援員を各地区に1名配置（令和4年10月）

2 循環経済・産業拠点の創出 ～川内港臨海ゾーン整備～

① 川内港唐浜地区国際物流ターミナルの整備・供用

- ・ 国直轄による川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の採択（令和3年3月）
- ・ 薩摩川内港ポートセミナーの開催（令和5年8月）



② 川内（火力）発電所跡地の活用

- ・ 「サーキュラーパーク九州」の実現に向けた連携協定の締結（令和4年7月）
- ・ 「サーキュラーパーク九州」の事業化決定（令和5年4月）
- ・ サーキュラーパーク九州株式会社と立地協定を締結（令和5年7月）

③ 川内港久見崎みらいゾーンの分譲・企業立地

- ・ 1 工区：分譲中
- ・ 2 工区：令和5年度第4四半期に分譲開始予定

2 循環経済・産業拠点の創出 ～川内港臨海ゾーン整備～

④ 南九州西回り自動車道 阿久根川内道路

薩摩川内水引IC～（仮称）湯田西方ICの供用

- ・ 南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会の開催（令和4年5月、令和5年7月）
- ・ 網津トンネル（仮称）の安全祈願祭（令和4年8月）
- ・ 網津トンネル（仮称）貫通式（令和5年2月）
- ・ 網津トンネル（仮称）の名称が草道トンネル（仮称）に変更（令和5年10月）
- ・ 南九州西回り自動車道阿久根川内道路決起大会の開催予定（令和6年5月）

⑤ 重要港湾川内港～南九州西回り自動車道間の アクセス道の事業化促進

- ・ 川内宮之城道路建設促進期成会の設立（令和4年12月）
- ・ 川内宮之城道路決起大会の開催（令和5年8月）



⑥ 川内川高潮対策事業（川内川左岸（滄浪地区）高潮堤防整備）

- ・ 左岸久見崎地区の高潮堤防の整備及び既設樋門の改築を実施中（令和4年度～）

③ 雇用の創出

① 既存誘致企業の拡張推進

- ・ 京セラ株式会社と立地協定締結（令和4年4月）
- ・ 京セラコミュニケーションシステム株式会社と立地協定締結（令和4年11月）
- ・ イタックス株式会社と立地協定締結（令和5年4月）
- ・ 令和エコノミートークを開催し、「薩摩川内E8がんばる宣言」を採択（令和5年6月）
- ・ 産業人材確保・移住定住プロジェクトチームを設置（令和5年6月）
- ・ 産業人材確保・移住定住戦略協議会を発足（令和5年7月）
- ・ サーキュラーパーク九州株式会社と立地協定締結（令和5年7月）
- ・ 九州航空株式会社と立地協定締結（令和5年10月）
- ・ 産業人材確保・移住定住戦略室を設置（令和6年1月）

② 新規就農者育成拠点施設の利用促進

- ・ 新規就農者育成拠点施設内の一部農地について、新規就農者用ほ場として、公益社団法人薩摩川内市農業公社と使用賃借契約を締結し、研修事業を開始（令和4年4月、令和5年6月）

③ 閉校跡地の利活用推進

- ・ 株式会社Credoが旧東郷中学校で、胡蝶蘭栽培事業を開始（令和4年6月）
- ・ 株式会社サードフォースが旧朝陽小学校で、ワイナリー事業を開始（令和5年6月）
- ・ 株式会社ユアーショップが旧倉野小学校で、物流倉庫事業を開始（令和5年12月）

4 交流の創出

① 全国大会の開催支援、誘致

- ・ 全国中学校空手道選手権大会（令和4年8月）
- ・ 全国和牛能力共進会（令和4年10月）
- ・ 一般社団法人粉体工学会第57回技術討論会（令和5年7月）
- ・ 全国高等学校総合文化祭（令和5年7月～8月）
- ・ バレーボール女子日本代表チーム合宿（令和4年5月・7月、令和5年5月・8月）
- ・ 燃ゆる感動かごしま国体・燃ゆる感動かごしま大会（令和5年10月）
- ・ 九州・台湾クリエイティブウィーク（令和5年11月）
- ・ **第33回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会（令和6年9月）**

② 川内文化ホール跡地活用施設の整備促進

- ・ 九州電力株式会社と「川内文化ホール跡地利活用に関する実施協定」を締結（令和3年8月）
- ・ 新施設起工式（令和5年1月）
- ・ 新施設の愛称を「センノオト」に決定（令和5年9月）
- ・ **「センノオト」開業（令和6年4月下旬）**

5 甑島医療体制の整備

- ・ 甑島地域医療体制整備基金（Dr.コトー診療所基金）を設置（令和5年4月）
- ・ 下甑歯科診療所を下甑長浜診療所内に移設し、開所（令和5年10月）
- ・ 下甑手打診療所に新しく医師を採用（令和5年10月）
- ・ 医療従事者等確保対策事業給付金制度を創設し、同制度を活用して看護師等18名が島内の医療福祉施設等に就職（令和4年度～）
- ・ **甑島診療所再編方針に基づき、（仮）上甑島診療所を整備（令和8年度目標）**

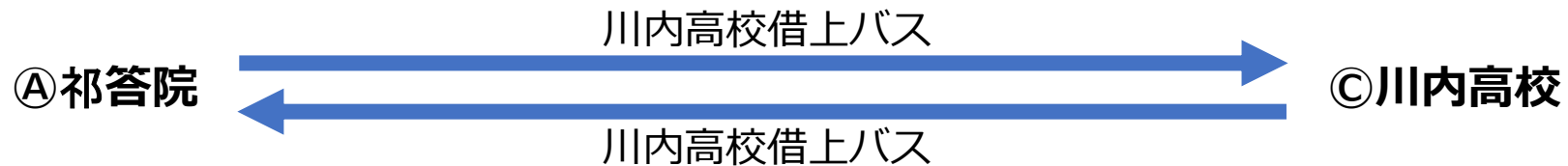


7 その他

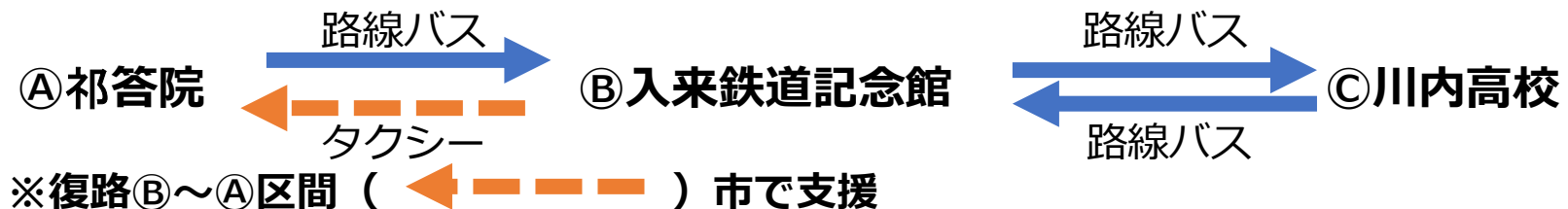
■ 高校生通学支援事業

【令和6年度当初予算概要】 P 1 0 0 参照

【今年度】



【来年度】



【予算額】

1, 2 9 9 千円 (タクシー利用料支援分)

【対象者】

現在、川内高校が運行するスクールバスを利用しており、スクールバス廃止後に、路線バスを利用したいが、通学に対応する路線バスが一部ない生徒

【利用負担】

1. タクシー 1 回の利用につき、1 人当たり 3 0 0 円の自己負担
2. 薩摩川内市通学定期券等購入費補助金※の対象とする (路線バスとタクシー利用分含む)

※薩摩川内市通学定期券等購入費補助金とは

本市に所在する中学校、高等学校に通学するための定期券等の購入費の 1 / 2 を補助するもの。